TOTO

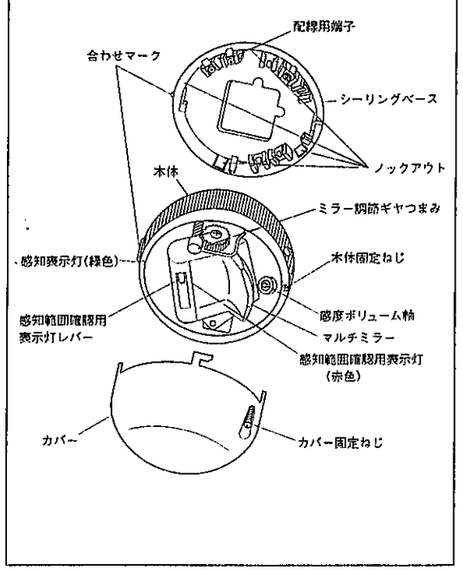
焦電センサー（TES5B）施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

この製品は、人体より放出される赤外線エネルギーを感知し、その信号をコントローラに送る装置です。取付に当ってはコントローラの取付説明書と合わせてご覧ください。

仕　様

各部名称

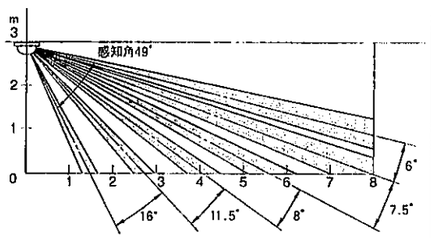


外　寸	138φ×85(高さ)
電源電圧	DC12V 極性あり
消費電流	50mA 以下
感知範囲	面検知　8m
感知ゾーン数	6
周囲温度範囲	−10℃～50℃
取付木ねじ	4φ×30(2本)
コード	0.8mmφ ビニールコード15m
ステイプル	20ヶ

感知範囲

水平方向

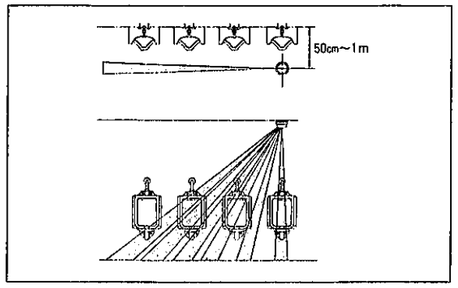
上下方向



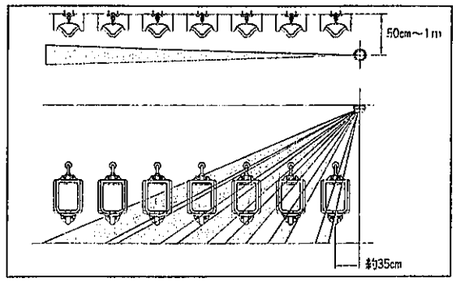
取付け前に

1. 電気器具ですから絶対に水をかけないように注意してください。また、結露の恐れのある場所には取付けないでください。
2. 小便器の連立数、使用者の進入方向、身長などを考えて取付位置・角度を決めてください。なお、子供のいたずらや故意の損傷をさけるため、できるだけ2m以上の高さの所に取付けてください。

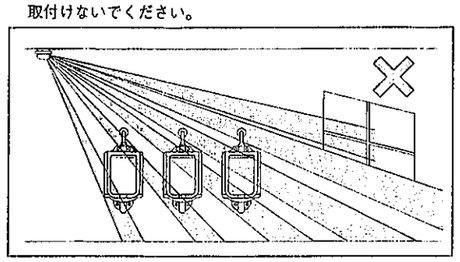
設置例1（4連以下の場合）
一番端の小便器の真上に取付けます。



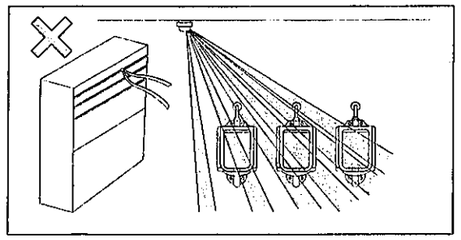
設置例2
小便器が5連以上の場合は、一番端の小便器より少しずらして取付けます。



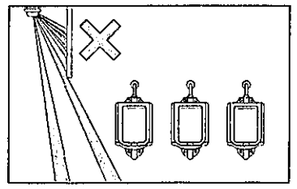
3. 次のような方向・場所への取付けは誤動作の原因となりますので避けてください。
① 窓の方向に向けたり、日光の直射や反射などの入る方向へは取付けないでください。



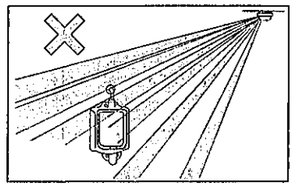
② 急激な温度変化のある場所（エアコン吹出口やストーブの上など）には取付けないでください。



③ 遮光物体のある所には取付けないでください。



④ 感知範囲内に小便器の洗浄面を入れないでください。

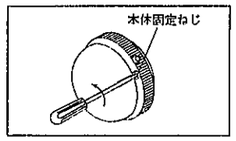


⑤ 振動及び衝撃の加わる場所には取付けないでください。

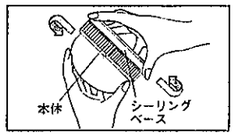
4. センサーには極性がありますので、配線の際にはセンサーとコントローラの端子台の表示が一致するように接続してください。誤配線すると故障しますので注意してください。
5. 配線できる距離は次のとおりです。
使用電線……0.8mmφ 又は0.5mm²以上の市販の三心ビニールコードで可
距　離……50mまで
6. センサーからの配線は、他の電源線（AC100VやAC200Vなど）と同一配管しないでください。
7. 焦電センサーは2台迄コントローラに接続できます。

取付けと配線

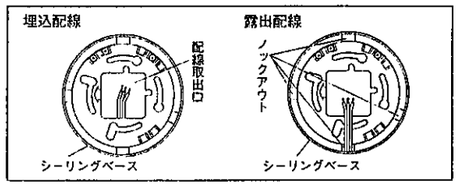
1. 本体固定ねじをドライバーで10回転程度ゆるめます。



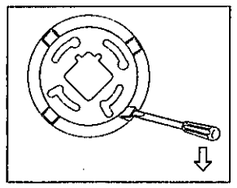
2. 本体とシーリングベースは左回りに回すと外れます。



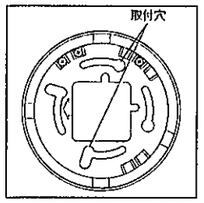
3. 同梱の取付型紙を取付場所に貼付けます。
（感知方向の指定に注意してください）
4. 取付型紙の取付穴2ヶ所に付属の木ねじを首下5mmくらいになるまでねじこみます。
5. シーリングベース部の配線取出口（埋込配線の場合）又は、ノックアウト（露出配線の場合）に電線を通します。



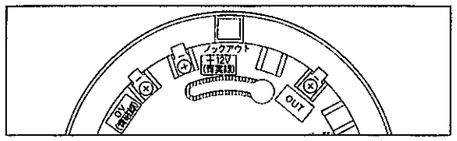
（注）ノックアウトは、マイナスドライバーを溝に差し、こじるようにして穴をあけます。



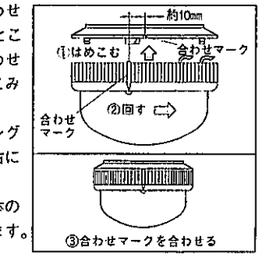
6. 取付型紙に取付けたねじの頭にシーリングベース部の取付穴をはめこみ右に回して取付け、ねじをしっかりしめて固定します。このとき、感知方向の指定に注意してください。（小便器の連立方向とシーリングベースの合わせマークを合わせてください。）



7. 配線をします。配線はシーリングベースの表示とコントローラ端子台の表示を合わせ、間違わないよう結線してください。端子台のねじは3回転以上ゆるめると抜け落ちることがありますので注意してください。



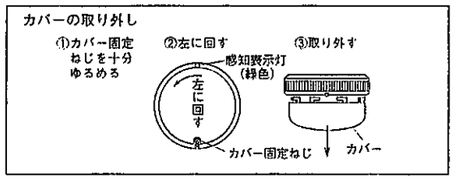
8. センサー本体をシーリングベースにはめこみます。
① シーリングベースの合わせマークの左側約10mmのところにセンサー本体の合わせマークを合わせ、はめこみます。
② センサー本体をシーリングベースに押しつけて、右に回します。
③ シーリングベースと本体の合わせマークを合わせます。



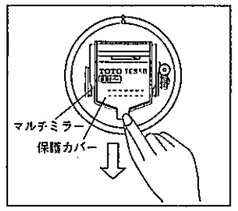
9. 本体固定ねじを十分締めつけ、本体がシーリングベースから外れないことを確認してください。

感知角度の調節

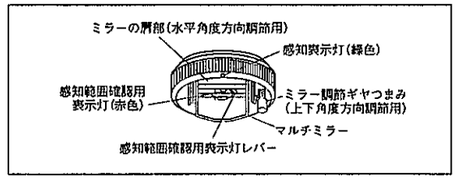
1. カバーの固定ねじを十分ゆるめてカバーを左に回して取り外します。



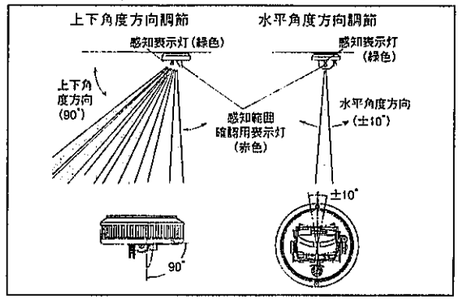
2. マルチミラーに付いている保護カバーを外します。このときミラーを汚さないように注意してください。万一汚れた場合は、やわらかい布でミラーを傷つけぬよう拭きとってください。



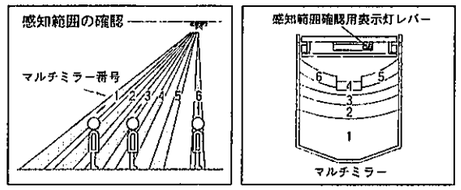
3. 電源を入れます。感知範囲確認用表示灯レバーを中央位置に引いて感知範囲確認用表示灯（赤色）を点灯させます。



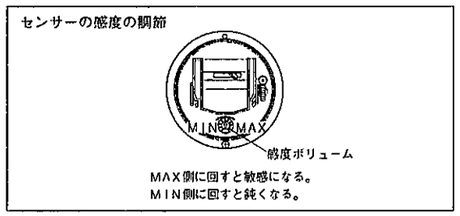
4. マルチミラーを感知する方向に向けます。上下角度方向はミラーの調節ギヤのつまみを回転することによって動かすことができます。左に回すと遠方を感知するようになります。水平角度方向は、ミラーの肩部を指で押して動かしてください。（このとき、ミラーを汚さないように注意してください。）



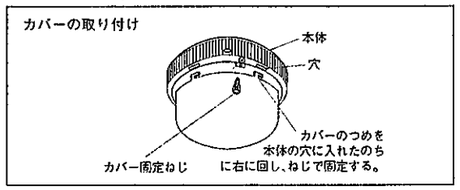
5. 焦電センサーから離れた場所で感知範囲確認用表示灯の点灯がミラーの写って見える場所が、感知範囲の一つのおおよそのゾーンとなります。通常の使用者が感知できるような場所から感知範囲確認用表示灯の点灯が見えるよう、ミラーを動かして感知範囲を設定してください。



6. 感知範囲の設定が終了したら、感知範囲確認用表示灯レバーを元にもどし、感知範囲確認用表示灯を消灯させます。こののち、約30秒経過しますと焦電センサーは感知可能状態となりますので、実際に人が設定された感知範囲内を移動して感知表示灯（緑色）が点灯することを確認してください。
7. 感度調整ボリュームは通常扱う必要はありませんが、万一感知しにくい、又は感知が敏感すぎる場合には感度を調整することが出来ます。
（注）感度調整ボリュームをMAX側に回しますと感度は鋭敏となり床面の状態によっては二次反射等で動作する場合があります。又MIN側に回すと感度は落ち、感知距離が短くなって動作しないことがありますのでご注意ください。



8. カバーを本体につけます。固定ねじのある方を感知表示灯と反対側にし、カバーの4本のつめを本体の穴に挿入させ、右に回して固定させます。そののち、カバー固定ねじを締めつけてください。



06390